

平成 27 年 10 月 27 日

教育委員会の共同設置第 2 回専門部会における検討状況について

(教育総務課、賀茂振興局)

1 第 2 回専門部会開催概要

(行政経営研究会第 1 回部会を兼ねて開催)

- (1) 日時・会場 平成 27 年 9 月 4 日 (金) 下田総合庁舎 2 階第 3 会議室
- (2) 内 容 賀茂地域広域連携会議及び専門部会における検討状況
指導主事の業務分析結果と共同設置方法
- (3) 参加機関 管内 6 市町教育長、企画担当課長、教育委員会事務局長等
県関係各課、賀茂振興局

2 合意事項

- (1) 指導主事を 1 箇所を集約配置するパターンをベースに、今後、具体的検討を進めることとする。

3 指導主事の業務分析結果の提示

カテゴリーごとの業務内容、業務量、行政的業務と指導的業務などについて業務分析を行い、「市町に根ざした個別業務」「複数市町のスケールメリットを活かした共通業務」の視点を取り入れた 2 つの配置パターン (集約パターンと分散パターン) を提示した。

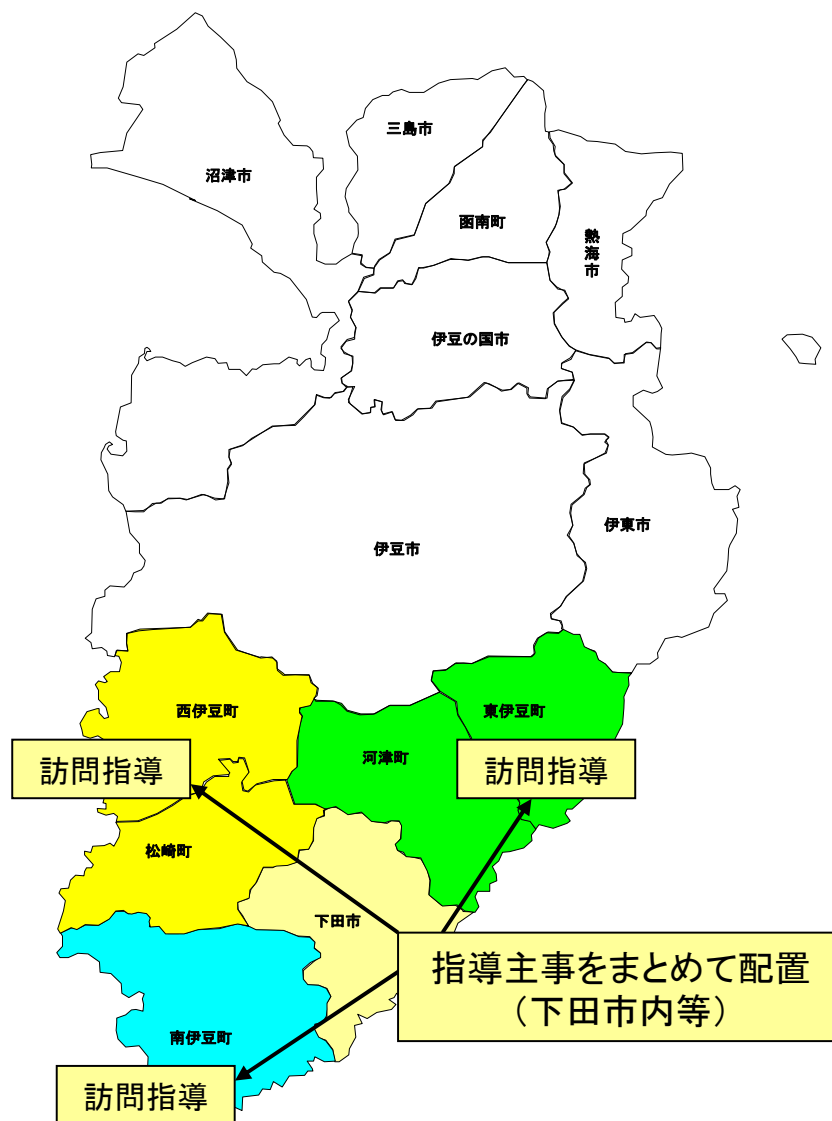
4 指導主事の配置方法についての主な発言内容

発言要旨	市町名等
指導主事に週 1~2 日は町で勤務してほしい	東伊豆町
賀茂地区指導主事連絡協議会のメリットを活かすことが重要 指導主事の指導主事(指導する立場の職員)が必要	河津町
広域連携のメリットを活かして行きたい	下田市
指導主事の分掌は日で区切ったらどうか 指導主事の力量形成が必要	南伊豆町
指導主事の単独設置を選択肢として持っていたい	松崎町
費用対効果を考慮して決めたい。町の業務にも従事してほしい 賀茂全体をどうしていくかという視点が必要	西伊豆町
県で移行期の支援をすることも考えられる 共同設置の指導主事を指導する立場の県費負担指導主事は必要	県教委理事
共同設置の指導主事への指揮・命令系統を明確にする必要がある	静岡教育事務所長
今後、人口減少が進むことを視野に入れ、効率化と行政サービスの高度化を両立させる視点が必要	賀茂振興局参事

5 今後のスケジュール

- 11月11日 第3回専門部会（兼行政経営研究会第2回部会）
・指導主事共同設置方法の具体（配置方法、費用負担等）検討
- 11月下旬 第4回専門部会
～12月上旬 ・指導主事共同設置の方針（案）策定
- 12月中旬 第6回賀茂地域広域連携会議
・指導主事共同設置の方針（案）上程

集約パターン(下田市内の庁舎等に指導主事をまとめて配置)

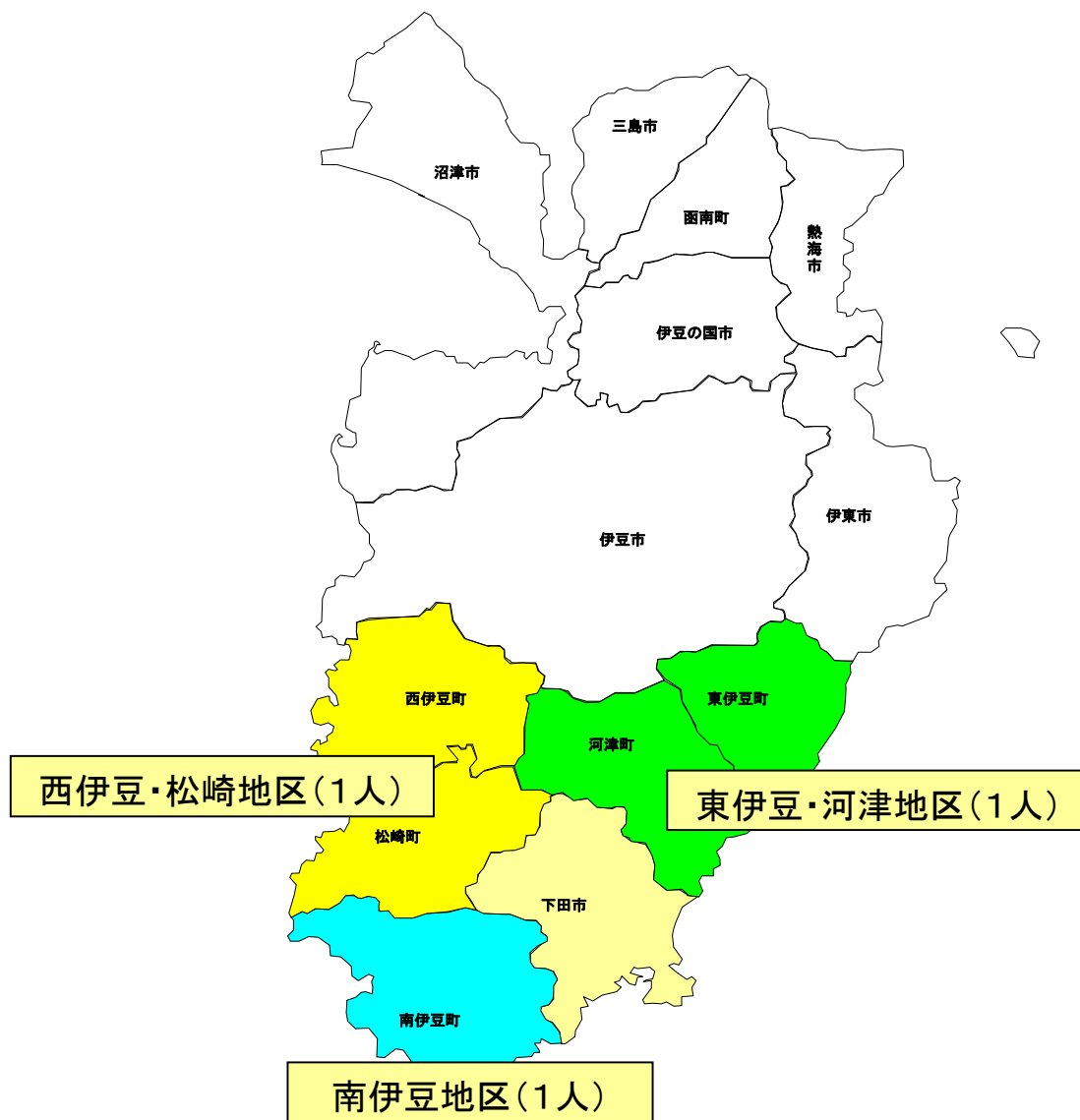


業務は、業務別担当(教科指導、経年研修等)及び地区別担当(相談業務等)により分担

【メリット】 ①指導主事間において、すぐに情報共有ができる。

②各教科担当者が1箇所に集まっているため相談等がしやすく、教科指導等が充実する。

分散パターン(地区担当の庁舎等にそれぞれ指導主事を配置)



【メリット】 学校現場に近い^{ため}、個別ケースにすぐに対応できる。(庁舎での相談窓口設置、学校訪問等)

災害時における人的・技術的支援体制の構築専門部会検討状況について

(土木防災課、下田土木事務所)

(要旨)

災害時における人的・技術的支援体制の構築について、これまで専門部会の開催と個別訪問調査を実施し、各市町の実状や個別課題、職場環境などを調査した。

その結果、各市町の災害時の対応状況や県に求める支援業務内容、支援業務の進め方などについて、意見や実状を収集することができた。

各市町の意見要望などを踏まえて、実効性のある支援体制の構築に向けて検討していく。

1 専門部会

第 1 回専門部会

地域の特性を踏まえた支援体制を検討

- ・第 1 回専門部会を 9 月 10 日（木）に開催した。
- ・専門部会では、関係各市町の現状、地域の実情及び個別課題・要望等の報告と意見交換を行った。

項 目	意 見 等
県への支援要望項目	<ul style="list-style-type: none"> ・被災状況調査～災害本復旧工事までの支援を要望する。 ・出来る限り自前の職員で対応したい。
過去の災害時対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人員が不足した。 ・特殊な災害時には工法等の決定に苦慮した。 ・知識・技術・経験豊富な職員が不足し、災害復旧業務に苦慮した。

2 個別訪問調査

個別の状況を踏まえた支援体制を検討

- ・個別訪問調査を 10 月 14 日（松崎町）、15 日（南伊豆町・西伊豆町・東伊豆町）、20 日（下田市・河津町）に開催した。
- ・個別訪問では、支援業務の想定活動場所の環境確認や導入積算システム、災害復旧に係る支援業務の進め方などについて調査や意見交換を実施した。

項 目	意 見 等
復旧支援業務の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町職員と県職員で災害復旧チームを結成し、作業を進める。 ・各市町と県で復旧方針の共有や復旧工法選定の考え方の統一を図る。 ・チームで行うことにより、各市町職員の技術力向上に繋がる。

3 今後のスケジュール予定

時 期	内 容
平成 27 年 12 月中旬	第 2 回専門部会 <ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域における県の支援体制（案）のとりまとめ ・内容の意見交換
平成 28 年 1 月以降	賀茂地域広域連携会議 <ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域における県の支援体制（案）の合意

地籍調査の共同実施について

(農地計画課・賀茂農林事務所)

(要旨)

地籍調査の共同実施について、第 1 回専門部会を開催したので、その概要を報告する。

1 会議の概要

- (1) 日 時：平成 27 年 10 月 13 日 (火) 15 時 30 分～17 時 00 分
- (2) 会 場：下田総合庁舎 2 階第 6 会議室
- (3) 議 題 ・地籍調査共同実施の体制イメージ
・今後の検討スケジュール
- (4) 参加機関：管内 6 市町地籍調査担当課、農地計画課、賀茂農林事務所、賀茂振興局

2 議事内容

- (1) 事務局から配布資料に基づき、地籍調査の概要、県内市町の実施状況を説明した後、共同実施に係る検討課題として、体制及びスケジュール (H28 着手、H29 補助事業) について意見交換を行った。

項 目	今後の方針
体制	・第 2 回専門部会において、共同実施体制の人員 (非常勤職員の活用)、事業量等を含めた具体案を基に検討を行う。 ・一筆地調査のうち、特に手間のかかる資料収集、土地所有者の調査等について、作業スケジュールを検討する。
予算	・H29 からの補助事業に先立ち、H28 から実施する直営による業務実施に必要な予算について関係市町に予算計上を依頼する。
県の支援体制	・共同実施の体制の検討と併せて、県の技術支援体制について検討する。

(2) 確認事項

- ・年内に関係市町の共同実施への参加意向を確認する。

3 今後の予定

時 期	内 容
平成 27 年 10 月 27 日	第 5 回 賀茂地域広域連携会議 ・第 1 回専門部会の検討内容報告
平成 27 年 11 月 17 日 (予定)	第 2 回 専門部会 ・全体検討スケジュール ・共同実施体制案
平成 27 年 12 月中旬	第 6 回 賀茂地域広域連携会議 ・第 2 回専門部会の検討内容 報告

平成 27 年 10 月 27 日

地籍調査共同実施のスケジュールと作業内容について（案）

（農地計画課・賀茂農林事務所）

（要旨）

賀茂地域において、事務の効率化（行政コストの低減）と人員負担の軽減を目的に地籍調査の共同実施を行う。

平成 28 年度の作業内容は、A 工程（事業計画）及び B 工程（事業準備）を実施する。

○地籍調査の作業内容（市町）

年度	工程	項目	作業内容	費用	市町職員 人工（参考） 主な作業項目
H28	A	地籍調査事業計画・事務手続き	H29 事業計画届出準備 登記所、財務局等関係機関との打合せ	市町職員の旅費、 需用費、役務費	0.1
	B	地籍調査事業準備	地元自治会打合せ、地元説明会開催 H29 概算要求及び予算要求資料作成 H29 補助金申請準備	概算 100 千円/1 市町 (補助対象外)	
H29	C	地籍図根三角測量	後続の測量に必要な基準点の測量	委託料、賃金、 旅費、需用費等 負担割合 国 50% 県 25% 市町 25% ※特別交付税に より実質負担 5%	1.0 発注 業務監督 工程管理 検査 現地立会
	D	地籍図根多角測量	〃		
	E1	一筆地調査 (関連資料収集)	公図、登記簿、戸籍、住民票 (権利者特定)		
		一筆地調査 (調査図素図作成)	調査図素図作成 地籍調査票作成、地元説明会		
E2	一筆地調査 (現地調査)	現地調査立会通知 現地調査			
H30	F I	細部図根測量	後続の測量に必要な基準点の測量	※特別交付税に より実質負担 5%	1.0 発注 業務監督 工程管理 検査 閲覧立会
	F II-1	一筆地測量	図根点を基にした筆界点の測量		
	F II-2	地籍図原図作成	筆界点の測量に基づき原図を作成		
	G	地積測定	各筆の面積を算定		
	H	地籍図・地籍簿作成	地籍図案・地籍簿案の作成		
		閲覧	閲覧準備、閲覧（20 日間） 誤り等訂正、認証書類整理		
	登記所送付	地籍図・地籍簿を登記所に送付	(補助対象外)		

※ は直営作業、 は雇用作業、 は外注作業

官民・民民の連携の実施状況について

(美しい伊豆創造センター、賀茂振興局)

(要旨)

「伊豆半島クリーン作戦」及び「伊豆半島 食の祭典」について、事業の実施状況及び今後の予定について報告する。

1 伊豆半島クリーン作戦

実施日 (予定)	市町・地区名等	参加者、参加人数等
9月16日 (水)	河津町 (今井浜海岸)	河津町長、東小学校児童ほか、150人
9月20日 (日)	松崎町 (町内各地区)	地区住民ほか、多数参加
10月3日 (土)	下田市 (白浜大浜海岸)	下田市副市長、地区住民ほか、200人
	三島市 (駅南口～市役所)	地区住民ほか、25人
10月4日 (日)	東伊豆町 (片瀬区)	地区住民ほか、200人
10月8日 (木)	伊東市 (オレンジビーチ)	地区住民ほか、200人
10月11日 (日)	南伊豆町 (弓ヶ浜海岸)	南伊豆町長、静岡県副知事、地区住民ほか、300人
	熱海市 (サンビーチ)	熱海ビーチクラブ、50人
	西伊豆町 (大浜海岸・安城岬)	大漁企画、25人
	伊豆市 (堀切区)	地区住民、45人
10月16日 (金)	沼津市 (びゅうお及び周辺)	地域住民ほか
10月18日 (日)	伊豆の国市 (韮山反射炉)	韮山反射炉応援団ほか
10月24日 (土)	西伊豆町 (黄金崎公園)	(一社) 下田青年会議所
10月25日 (日)	東伊豆町 (熱川海岸)	東伊豆町長、リーズ (ボランティア団体) ほか
10月30日 (金)	函南町 (火雷神社)	田代区

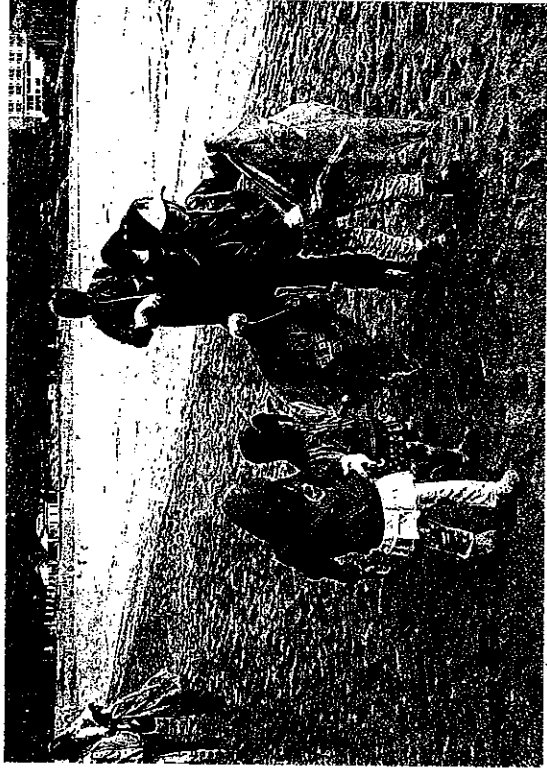
2 伊豆半島 食の祭典

開催日 (予定)	イベント名称 (開催場所)	主催・規模等
9月6日 (日)	美しい伊豆創造センター設立記念フォーラム物産展 (函南町: 函南町文化センター)	美しい伊豆創造センター 出店数 15、来場者 500人
9月12日 (土)	IZU 食彩トレイドフェア 2015 (伊豆の国市: アクシスカつらぎ)	IZU 食彩トレイドフェア実行委員会 出店数 57、来場者 2,351人
10月17日 (土) ～12月6日 (日)	伊豆道の駅スタンプラリー (伊豆道の駅 7箇所)	伊豆道の駅ネットワーク協議会
11月1日 (日)	伊豆半島 食の祭典 in 天城越え (伊豆市)	美しい伊豆創造センター
11月8日 (日)	伊豆半島 食の祭典 in 開国下田みなと (下田市)	下田商工会議所
11月22日 (日)	ONE de IZU (沼津市: NEOPASA 駿河湾沼津)	(一社) 下田青年会議所
12月6日 (日)	伊豆半島 食の祭典 in 下賀茂温泉湯の花 (南伊豆町)	美しい伊豆創造センター
1月11日 (月・祝)	伊豆半島 食の祭典 in 伊東マリンタウン (伊東市)	
2月21日 (日)	伊豆半島 食の祭典 in くるら戸田 (沼津市)	
3月6日 (日)	伊豆半島 食の祭典 in 花の三聖苑伊豆松崎 (松崎町)	
3月予定	伊豆半島 食の祭典 in 伊豆のへそ (伊豆の国市)	

伊豆半島ジオパーク世界認定を祈念

弓ヶ浜海岸でクリーン作戦

南伊豆 300人ごみ回収に汗



↑ 弓ヶ浜海岸のごみ拾いを
する参加者＝南伊豆町

美しい伊豆創造ゼンターと南伊豆町、県は11日、同町の弓ヶ浜海岸で、伊豆半島ジオパークの世界認定を祈念する「伊豆半島クリーン作戦」を展開した。参加者は雨の中、浜辺に落ちた海藻や流木などを拾い集めた。

地元住民や同日開催された「第2回伊豆・弓ヶ浜マラスロン大会」の出場選手ら計約300人が、ごみ袋を手に約1時間にわたり、弓ヶ浜の海岸線に沿って一生懸命、清掃活動を行った。町によ

27.10.12
（岡）

ると海水浴シーズン
は終了したものの、サ
ーフィンなどのために
弓ヶ浜海岸を訪れる人
は多く、地元でも定
期的に海岸清掃を実施
している。

クリーン作戦には、
梅本和郎南伊豆町長
や、土屋慶行副知事も
参加。地元住民たちと
一緒に汗を流した。

美しい伊豆創造ゼン
ターなどは9月中旬か
ら伊豆半島各地でク
リーン作戦を展開して

いる。これまでに弓ヶ
浜町でも回、同様の清掃
作業を住民に呼び掛け
て行ってきた。清掃を
通じて「世界から称賞
され続ける美しい半島
・伊豆」を実現するの

が目的。
この日は、弓ヶ浜海
岸以外にも、熱海市や
西伊豆町でもクリーン
作戦が行われた。10月
末まで伊豆各地で継続
して展開する。



伊豆半島

食の祭典



見て、楽しんで、食べ尽くそう！

美しき伊豆、
美味なる伊豆…
食の宝庫・伊豆を、

期間 平成27年9月6日 ▶ 平成28年3月

1 美しい伊豆創造センター
設立記念フォーラム《物産展》 終了

平成27年9月6日(日)午前10時30分～午後1時30分
場所: 函南町文化センター 主催: 美しい伊豆創造センター

2 伊豆半島 食の祭典 in 道の駅

平成27年11月～平成28年3月
場所: 伊豆道の駅7箇所
主催: 美しい伊豆創造センター

「オーブニング」

7つの道の駅
ネットワーク

414	天婦羅え	平成27年11月1日(日)	18	くら戸田	平成28年2月21日(日)
135	閉園下田みなと	平成27年11月8日(日)	15	花の三聖苑伊豆松崎	平成28年3月6日(日)
136	下賀茂温泉湯の花	平成27年12月6日(日)	414	伊豆のへそ	平成28年3月*予定
135	伊東マリンタウン	平成28年1月11日(月・祝)			

3 伊豆道の駅スタンプラリー2015

平成27年10月17日(土)～12月6日(日)
場所: 伊豆道の駅
主催: 伊豆道の駅ネットワーク協議会
(事務局: 国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所)

4 IZU食彩トレイドフェア2015 終了

平成27年9月12日(土)午前10時00分～午後2時00分
場所: 伊豆の国市 長岡総合会館 アクシスかつらぎ
主催: IZU食彩トレイドフェア実行委員会(伊豆地区区商工会)

5 ONE de IZU

平成27年11月22日(日)午前10時00分～午後5時00分
場所: 新東名高速道路 NEOPASA 駿河湾沼津 上り線
主催: 一般社団法人 下田青年会議所

伊豆道の駅
スタンプラリー
2015



当選総数
約280人!

7つの道の駅を
めぐって伊豆の
13市町の特産品を
もらおう!

平成27年
期間
10月17日(土)
▶ 12月6日(日)

主催: 伊豆道の駅ネットワーク協議会



0557 (35) 9321